

まちづくりびと 紹介します

pioneer まちを愛する開拓者

～まちづくりサポーター～

特集

「豊山をおもしろく、豊山で楽しく」を合言葉に、「まちサポーター」まちづくりサポーターが本町における協働の担い手の一つとして活動しています。九人のメンバーのなかでも若手の四人にインタビューを行いました。

グルメマップ制作中

Q まちサポの紹介をお願いします。

坪井 まちサポは、昨年の九月に発足しました。町の活性化につながるような取組を進めるため、町の呼び掛けに応じた十代から六十代までの男性五人、女性四人で活動しています。最初の取組として、現在、町のグルメマップの制作を行っています。これまでに五回の会議を行いました。会議のほか、インターネットを使用して随時意見を交わしています。

まちのことが前より好きに

Q まちサポのどのような点に魅力を感じますか。

青山 豊山町のこと好きで、そのま



坪井彩華さん



青山巧実さん

ちづくりに主体的に関われるところが魅力です。

前野 いろいろな人と出会い、話を聞くことで知識が広がることに楽しさを感じます。

坪井 そう、このまちに関する知識が増えたので、帰省してきた友達に、ずっと話すことができるようになりました。今、制作しているグルメマップの関係で、今まで行ったことのないお店にも行きやすくなったと思います。まちのことが前より好きになりました。

今井 こういう会議のようなものに入るのは初めてだったので、新鮮で驚きの連続でした。

前野 高校は同年代ばかりだけど、まちサポは幅広い世代の方がみえるので、刺激になります。

豊山の認知度を高めたい

Q 今後、取り組んでいきたいことはありますか。

前野 さまざまなメディアに向けて発信して、豊山の認知度を上げられたらよいと思います。

今井 イベントを開いてみたいと思います。例えば、スタンプラリーなどのような。

青山 交通関係が好きなので、タウンバスの魅力を今以上に高められるようなことができればと思います。また、防災の関係も勉強してきたことなので、何か活かすことができたらいよいと思います。

坪井 私は、町内のお店の方などにインタビューをして、リレー形式で次

